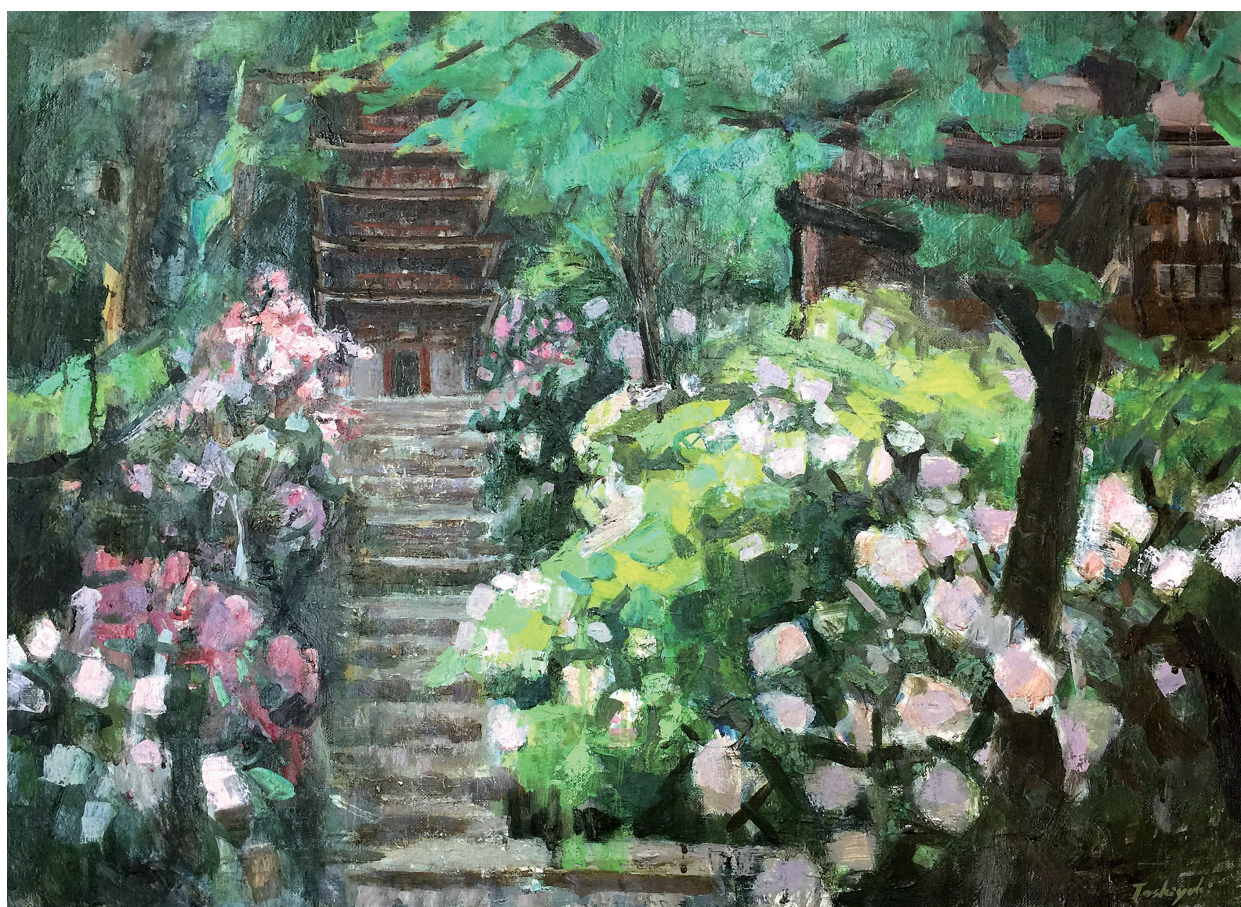


奈良教育大学同窓会会報

まほろば

第30号



目

次

○会長挨拶	2
○学長挨拶	3
○平成28年度会務報告	4
○平成28年度会計報告	5
○平成29年度総会の風景 平成29年度活動方針	6
○役員紹介・支会だより	7
○同窓会だより	8
○会員からのたより	9
○先輩から後輩へ・後輩から先輩へ	10
○研修会だより	11
○事務局だより	12

「室生寺」

阪東 俊行 (S51卒)

春。シャクナゲの咲く頃の境内です。優しい花と鮮やかな緑があふれ、五重の塔も控えめです。

室生寺は、季節による変化が美しく、私の好きな寺の一つです。学生の頃から何度も訪れていますが、季節や天候、時間などにより様々な表情を見せてくれます。その時の自分の心の有り様によるものでしょう。何度訪れても、同じ場所にたたずんでも、新鮮さを感じます。そんな魅力の寺です。これからまた、幾度か訪ねてしまうに違いありません。



大学との連携を強固に！

会長 森 康 雄

若葉鮮やかな奈良教育大学キャンパスに、今年も多く優秀な若人が、大きな希望を胸に秘めて入学しました。澁刺とした姿に接し心が若返ります。

同窓会員の皆様には、お元気でご活躍のことと拝察し心よりお慶び申し上げます。

去る5月21日、平成29年度の総会が開催され、本年度の大切な案件が審議されました。出席会員の慎重な審議を経て、すべての案件が承認されました。皆様に厚くお礼申し上げますとともに、会員の力強いご支援を御願い申し上げる次第です。

本年度の入学生から、入学と同時に同窓会員として迎えることになりました。同窓会活動への学生の意識喚起を図ると同時に、奈良教育大学の充実・発展につながることを願っています。

昨年度試行的に実施した「まほろば徳・得講座」を本年度は、7回の計画で本格的に始動いたします。貴重な経験を積み重ねてきた講師陣による講座内容は、教職をめざす学生にとっては、教育現場において即刻生きて働くものとなります。また、大学で学ぶ様々な理論的学問との融合を図りながら深い学びにつながり、学生

生活がより豊かなものになると確信しています。

次に、支会活動の活性化をお願いしたいと考えています。会則第10条には、各支会に1名の支会長を置くことが明記されました。支会相互の連携はもとより、本部との連絡がより強固なものになると思います。支会において話合われている素晴らしいアイデアが、同窓会の発展と大学の充実につながればこれ以上の喜びはございません。

平成30年には、奈良教育大学が創立130周年を迎えます。同窓会としても、できる限りの支援をしていきたいと考えます。より良好なキャンパスの構成を想定した活動として、クラブハウスの改築に踏み出すのもその一つかと思います。また、現在進行中の「ならのやえざくら」育成に協力していくことも考えられます。奈良教育大学同窓会の活動は、会員一人一人の素晴らしい経験知を結集した有為な活動です。母校の発展と次代を担う立派な人材育成につながることを心から願っています。

以上、大学との連携を強化しながら同窓会活動を推進していく一端を述べましたが、会員の皆様の力強いご支援をお願いし、ご挨拶いたします。



学び合うことをささえるもの

学長 加藤 久雄

本学は、国際連合ユネスコが認めたユネスコスクールの大学であります。国連が認めたユネスコスクールの大学は、日本では5つしかありません。本学は、附属小学校、附属中学校もユネスコスクールであります。ユネスコが追求している教育に、ESDというのがあります。Education for Sustainable Development（持続可能な発展のための教育）であります。地球で暮らす私たちが世代や地域を越えて、どのようにしたら平和で豊かな文化を育む持続的な社会を築くことができるかということを考える教育です。

先日、ともにユネスコスクールである奈良の小学校と和歌山の小学校が、ESDの学びをインターネットを使って発表し合いました。和歌山と奈良という離れた小学校の児童が、インターネットでリアルタイムにつながって交流をしました。奈良の小学校のみなさんは、川路桜の発表をしました。奈良の佐保川沿いに毎年咲く桜は、江戸時代に川路聖護^{かわじとしあきら}という奈良奉行が植えたものです。それを地域の人々が、ずっと、大切に守ってきたわけです。和歌山の小学校のみなさんは、環境、エコロジーについての学びを発表してくれました。電気や水、エネルギーや資源を大切にしようという学びの成果の発表でした。「私はこのように考えます」「こうしないといけないと思います」ということを、わら半紙に書いて、カメラの前からリアルタイムで奈良に送ってくれたのです。とても和やかな雰囲気での発表が進みました。

双方の発表が終わり、意見交換に進みました。この時間こそ学びの中心となるべき重要なタイミングですが、なかなか手があがりませんでした。みんな下を向いてしまう瞬間でもあります。ましてや、この発表で初めて出会う、いわば、知らないお友達の関係です。司会者は、次の展開に移ろうと考え始めていたと思います。その

時、奈良の方から女の子の手があがりました。司会者は、すかさずその女の子を指名しました。

女の子は、明るく快活に話し始めました。「エコの発表ありがとうございました。とてもよくわかりました。でも、エコの発表でそんなにたくさん紙を使って……」と言い出したのです。一瞬、交流の場の雰囲気が凍りついたように感じました。

しかし、それは、私の無用で無意味な危惧でした。その女の子は、「エコの発表ありがとうございました。とてもよくわかりました。でも、エコの発表でそんなにたくさん紙を使つては、ダメだと思います。」とは言わなかったのです。女の子は「エコの発表ありがとうございました。とてもよくわかりました。でも、エコの発表でそんなにたくさん紙を使って、大丈夫？」と発言を結んだのです。

「エコの発表でそんなにたくさん紙を使つて、ダメだと思います。」と言つても、そこから学び合いが始まる場面です。しかし、「エコの発表でそんなにたくさん紙を使って、大丈夫？」の方が、どれくらい素晴らしいか、また、ESDの学びにとって重要であるか。私は、この女の子に教えていただきました。

ところで、この授業を指導された先生の「授業力」には、これまでいつも、学生とともに学ばせていただくこと大なるものがありました。この女の子の発言が、偶然出てきたものではなく、日頃の授業を通じて、自ずと学び育んだものであることは、私には明らかでした。

このエピソードは、この3月の卒業式の告辞でも話させていただきました。4月の入学式の告辞では、ヘレンケラーの「奇跡の人 the Miracle Worker」は、サリバン先生だというお話をさせていただきました。学ぶ喜びを知り、学び続ける教員、そして、「ミラクルワーカー」を目指すことについて話させていただきました。お時間のあるときに大学ホームページで見ただけたらと思います。

平成28年度 会務報告

- | | |
|--|--|
| 4月1日 会計監査を受ける | 10月8日 第1回まほろば徳・得講座 |
| 4月4日 大学入学式 副会長・事務局長
式典に参列 学部生 267名
大学院生 77名 | 10月22日 第2回理事評議員会 32名
第2回まほろば徳・得講座 |
| 4月6日 第1回本部役員会 | 11月3日～5日 大学祭“輝薨祭” |
| 4月13日 役員選考委員会 | 11月9日 第6回本部役員会 |
| 4月17日 理事・評議員会 42名出席
総会に提案する議案を討議検討 | 11月13日 大阪興東会退職校長会総会 |
| 4月23日 大阪興東会 | 11月19日 公開文化講演会 35名
加藤久雄 学長 講演
「世界遺産に学ぶ」 |
| 4月30日 天理支会 | 11月26日 第3回まほろば徳・得講座 |
| 5月6日 第2回本部役員会 | 11月28日 大和郡山支会 |
| 5月13日 総会資料綴り作業・会場準備 | 12月1日 大阪市奈良教育大学同窓会 |
| 5月15日 平成28年度総会 65名
総会後のアトラクション
・混声合唱 楽桜混声合唱団
・マジックショー 中路喜臣氏 | 12月3日 奈良市支会 |
| 5月27日 第1回広報委員会
会報「まほろば」編集委員会 | 12月4日 磯城支会 |
| 6月10日 第2回広報委員会 | 12月7日 第7回本部役員会 |
| 6月17日 第3回本部役員会 | 12月23日 奈良教育大学同窓会
「教育の集い」 41名
於：奈良ホテル |
| 6月20日 第3回広報委員会 | 1月7日 大阪興東会新年総会 |
| 6月26日 五條支会 | 1月20日 第8回本部役員会 |
| 6月30日 まほろば第29号発行 | 2月15日 第4回広報委員会
入学時入会手続き1回目 |
| 7月30日 生駒支会 | 2月20日 第1回組織委員会 |
| 8月8日 第4回本部役員会 | 3月3日 第1回研修委員会 |
| 8月25日 創立130周年記念事業に向けて
大和ハウスとの交流会 | 3月5日 八尾支会 |
| 8月27日 東大阪支会 | 3月8日 第9回本部役員会 |
| 9月16日 第5回本部役員会 | 3月15日 入学時入会手続き2回目 |
| 9月25日 第2回史蹟めぐり同好会見学会
岡山県 閑谷学校 28名 | 3月24日 卒業証書・学位記授与式
卒業生 316名
入会者 110名（昨年119名）
会費納入者 97名（昨年110名） |
| 9月30日 中間卒業式 卒業生6名 入会1名 | 3月27日 入学時入会手続き3回目 |

第5回 楽桜会コンサート

- とき 平成30年10月21日(日) 午後2時 開演
- ところ 秋篠音楽堂 (奈良ファミリー6階)
(近鉄大和西大寺駅下車北口より徒歩3分)

入場
無料

音楽専攻者同窓会「楽桜会」は、卒業後も独り音楽の勉強を続けている会員に発表の場を提供するため「楽桜会コンサート」を隔年に開催しております。どうぞご来聴いただき、会員を応援していただきますようお願い申し上げます。

楽桜会 会長 松原さおり

会員から書籍が寄贈されました

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 2015年1月1日 歌集「反射光」 | 佐藤 直子(S34卒):現在短歌社 |
| 2015年1月15日 随筆「奈良行脚」 | 石亀 嶽(S43卒):自費出版 |
| 2016年9月1日「原納彌三郎の生涯」 | 原納 淳(S33卒):悠光堂 |

2018年 同窓会総会のご案内

- とき 平成30年5月20日(日)
午前10時から

■ところ 奈良ホテル

- 出席希望者は平成30年4月末までに、事務局へ(FAXか電話で)お申し込みください。



平成28年度 奈良教育大学同窓会一般会計決算書

(平成28年4月1日～
平成29年3月31日)

(歳入の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度収入額 (B)	比較増減額 (B - A)	備 考
会 費		3,160,000	2,676,450	483,550	
	1 通常会費	2,800,000	2,332,450	467,550	1057名
	2 入会金	200,000	222,000	△ 22,000	中間 1 名・3 月卒業 110名
	3 臨時会費	160,000	122,000	38,000	総会 61名
繰 入 金	基金より繰入れ	0	300,000	△ 300,000	事業基金より
雑 収 入	広告代金	0	135,320	△ 135,320	三井住友トラストカード・三泉保険
繰 越 金	前年度繰越金	143,321	143,321	0	繰越金
利 子	利子及び雑収入	0	62	△ 62	貯金利子
合 計		3,303,321	3,255,153	48,168	

(歳出の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度支出額 (B)	比較増減額 (B - A)	備 考
事 務 費		1,842,000	1,788,440	53,560	
	1 報酬	984,000	1,004,400	△ 20,400	事務局長・事務局員報酬
	2 諸手当	198,000	203,000	△ 5,000	交通費、諸手当
	3 役員旅費	250,000	238,700	11,300	役員会旅費等
	4 備品費	40,000	3,769	36,231	事務備品等
	5 消耗品費	30,000	20,131	9,869	印刷用紙他
	6 通信費	120,000	94,873	25,127	切手・はがき・電話料金等
会 議 費	7 貸借料	220,000	223,567	△ 3,567	複合機リース代・コピー代
		330,000	268,655	61,345	
	1 役員会費	30,000	20,444	9,556	役員会、理事会、評議員会等
事 業 費	2 総会費	300,000	248,211	51,789	総会、懇親会等
		1,105,000	1,123,241	△ 18,241	
	1 会報発行費	900,000	823,046	76,954	会報「まほろば」29号
	2 新会員歓迎費	75,000	68,392	6,608	入会歓迎会費・卒業記念(筒)等
	3 事業活動費	50,000	176,803	△ 126,803	講演会・徳得講座・史蹟めぐり
	4 組織活動費	50,000	10,000	40,000	支部活性化対策
予 備 費	5 事業補助	30,000	45,000	△ 15,000	同好会活動・教育のつどい
	予備費	26,321	17,000	9,321	
合 計		3,303,321	3,197,336	105,985	

差引現在高 3,255,153 - 3,197,336 = 57,817円 (次年度へ繰り越す)

特別会計現在高 (平成29年 3 月31日)

監査報告

1. 事業基金	5,170,676円
ゆうちょ (定額)	4,281,000円
南都銀行 (定期)	226,134円
ゆうちょ (預金)	308,000円
ゆうちょ (普通)	355,542円
2. 学生短期融資基金 (定期)	338,062円
合 計	5,508,738円
奈良教育大学創立130年記念事業準備金	200万円

平成28年度の会計決算を詳細に監査いたしましたところ、諸帳簿等はいく整備され、正確適正に処理されていたことを認めます。

平成29年4月5日

会計監査 野 阪 雅 美

会計監査 倉 本 政 太 郎

平成29年度 奈良教育大学同窓会の風景

平成29年度総会は、去る5月21日教育大学内の山田ホールにおいて、顧問・名誉理事の諸先生はじめ多くの会員諸兄妹のご出席のもと盛大に開催されました。以下の写真で当日の雰囲気をご想像ください。

来年は、奈良ホテルで開催いたします。奮ってご参加くださるようお願いいたします。



森康雄会長の挨拶



北良夫議長の進行で議案の慎重な審議



29年度本部役員承認



29年度新事業の説明



大阪本多小、銭本校長のリコーダー
(伴奏は坂本教諭)



楽櫻混声合唱
(懐かしい童謡メドレー)



懇親会のセレモニー



どのテーブルも和気藹々と
話の花が咲くひと時

平成29年度 活動方針

国立大学法人奈良教育大学同窓会は、会員相互の親睦を図り教育ならびに社会の進展に寄与することを目的とする。また、大学の運営方針に添って協力し、更なる発展をめざす。

- 理 念**
- 会員相互のふれあいを大切にし、親睦を深める。
 - 学び合い、語り合う場を設定し、互いに教養を高める。

基本方針 同窓会活動及び、各支会活動の充実発展を骨子とし、参加勧誘を働きかけ、会の運営・維持に努力することを基本とする。

- 重点目標**
1. 同窓会員として豊かな人格をめざし、会の運営・充実のため年会費の増額・増収に努める。
 2. 同期同窓会の組織運営の強化と、支会活動の活性化をめざす。
 3. 大学創立130周年事業成功に向け、大学の発展と同窓会としての目標達成に、支援し協力し合う。

平成29年度 奈良教育大学同窓会役員紹介 (敬称略)

	顧問	加藤久雄(学 長)・柳澤保徳(元学長) 長友恒人(前学長)・長田光男(元会長) 西田史朗(元会長)・中谷 要(前会長)	評 議 員	
			奈良市	香芝市
本部役員	会 長	森 康雄	前川和由・大西康仁 川邊 博・玉置壽幸 塚本真人	竹林貞裕・荻原雄一 尾上清隆
	副 会 長	中川克己・西川 健・吉田貴子 橋本 清・松原さおり	天理市 阪部 保・喜多健一 大和郡山市 奥田政俊・三村精一 川本好秀	御所市 永長良之 五條市 磯田廣人・栗山 浩 蓮尾雅人
	会 計	久保三左男・向出恵宥(事務局次長)	山辺郡 今本泰啓 旧山添 西田美智子	内吉野 久保 隆 吉 野 森寫敏彦・山方 峰 高 校 谷原義永・岩崎俊哉
	監 事	野阪雅美・倉本政太郎	生駒市 上西 均・出原威佐夫 生駒郡 稲浦 聡・岡田泰治	大 学 金原正明 大 阪 船留昌代・石川昌司
	委 員 長	中川克己(総務企画)・西川 健(組織) 橋本 清(広報)・吉田貴子(研修) 松原さおり(キャンパス美化) 吉田 誠(大学)	桜井市 上田全計・浦前正巳 磯城郡 上村謙至・松村宙亨 宇 陀 城井 賦・向井 清 田中三彦	東大阪 松川登志子・金治延行 植田 勝 八 尾 山田 昇・加藤賢一 京 都 井戸野仁司 濱 喜代巳
	名誉理事	井上三夫・山根 奨・松村恵司	橿原市 中島浩一・原田須賀子 高市郡 脇本雅子 高田市 辰巳恵子・平上昭彦 北葛城 森岡義博・増田辰夫	三 重 布村 進・柏本一三 東 博
理事	北 良夫・小田和代・仲 輝明・中村利典 松浦陽子・岩橋恭子・小谷勝彦・竹村恵美 小林邦子・山下豊次・吉田 誠・中村倫子 滝川満夫・銭本三千宏・中澤新治・豊田弘司 谷口尚之・深田展功・西岡由郎・山崎淳美			

支会だより

生駒市支会活動の再出発

出原 威佐夫 (S44卒)

昨夏7月30日土曜日、もちろん暑い盛りでしたが、からっと晴れた夏の昼中、あやめ池は「あやめ館」で、数えて20回目の生駒市支会総会を開催しました。

生駒市支会は、平成4年から平成25年の第19回まで、ほぼ毎年欠かさず開催してきましたのですが、最終は参加者の減少で継続が難しくなり、しばらく休会状態になっておりました。

生駒市は同窓生の多い所。ここで支会活動を衰退させてはいけなと、今回、改めて市内の同窓生氏名を整理したところ、昭和20年卒から平成26年卒まで、412名の会員のお名前が判明。しかし、総会開催の案内を全員に配布すれば、往復はがき郵送料だけでも4万円。これはまったく財政の乏しい支会としてはできない話。そこで、最近5年の間の会費納入実績を見て、一度でも会費を納めていただいている方と現職の生駒市内学校の同窓生の校長・教頭先生の合計125名に限らせていただいて、総会・懇親会の案内封筒に返信はがきを同封送付させていただきました。勿論、同窓生結婚の方には1軒に一通と儉約させていただきましたが、その結果、宛先不明・転居で返送されてきたもの12通、逝去のお返事をいただいた方2通。さて残り111通の内訳は、役員・理事の先生方からお電話していただくなどいろいろな勧誘の結果でしたが、それでも欠席の返事が77通、返信なしが22通。出席のお返事はわずか12通でした。

そして迎えた当日は、1名の急な欠席で、結局は全体で来賓の3名を加えても14名の会となりましたが、経過報告や新会長の選出など総会議事も滞りなく進行し、後の懇親会では、松村恵司新会長はじめお体を案じながらご参加いただいた武藤耕次郎氏や「今回案内をいただいて、初めてこんな会があることを知りました」とおっしゃった最若手の藤田真理子さんまで、みなさんが師範、学大・教育大の垣根を越えての懇親を深めることができました。西川健先生の美声や福井敏雄さん川口真由美さんのデュエットなどカラオケも楽しみ、西川嘉映さん、増田好志さん、倉本政太郎さんのそれぞれの近況報告など、司会進行の中川克己先生のお陰で大変充実した会になりました。森新会長からの今後の同窓会活動についての明るい方向性のご挨拶、そして久保事務局長からは会の運営の状況、さらに長田顧問からは支部活動への暖かい援助と励ましのお言葉を頂戴し、今後はさらに参加者が増え、生駒市支会が永く続いていくように決意を込めて、参加者で万歳を三唱して、閉会いたしました。



同窓会だより

笹田 治人 (S32入学同期会)

4年ほど前のこと。久しぶりの集まりの席で、例によってお互いの歳の話から、「もうお互いそう長くないのだから、定期的に集まろうや」という話になり、「いっそのこと毎年にしては」という提案がされて、年に一回の同期会が始まった。

その席で「事務的なことはお前が適任だ」と、強引に幹事役を押し付けられてもう4年に。その幹事役を押し付けた男も、昨年天国に旅立ってしまった。

毎年一回の集まりだが、日時を固定すると人によっては参加できなくなる人も。また年配になって地域の役職を持たされたり、ボランティア活動に追われている者もいる。老老介護や孫たちの世話も考慮が必要だ。

そんな訳で生まれた約束事が、土日・祝日を避けた9・10・11月の平日の昼間。場所は駅やバス停から徒歩すぐの場所で、足腰の不自由を考慮した椅子席の会場。そして毎年3月にはその年の集会日時を事前通知するという方式。

この方式を始めて昨年で3回目だが、年々参加者が増えて昨年は18人。現在の参加対象者が45人だからまあまあ的人数だろう。残念ながら同期の仲間のうちすでに22人が旅立っているし、認知症の発症者や音信不通の者も8人ほどいる。

どの同窓会も同じだろうが、集会への出欠はハガキで通知してもらい。私たちはそこに必ず近況報告を付記してもらい、これを整理・プリントし、さらに参加者全員の集合写真を加え、不参加者を含めて全員に送付している。これが予想以上に好評だ。

在学中は親しくなかった相手でも、同じ時間と同じ場所を共有していたことは、歳とともに重みを増す。そのことを実感している。



池窪 毅 (S33入学同期会)

平成28年11月10日(木)、吉野郡川上村「杉の湯」で、昭和33年入学 奈良学芸大学同窓会を開きました。

私たちの入学した時は、現在県庁舎がある登大路の校舎でした。

その年の8月に今の高畑校舎に移転したことが心に残っています。また、卒業後の就職は、県の「へき地3年」という方針により、多くの人たちが吉野郡の各地へ赴任していきました。

吉野は、忘れられない思い出の地でもあります。わたしたちは、50数年を経て「山と水

と緑の癒しの里」で、近況を語り合い、互いの絆を深めることができました。

そして、それぞれに元気をもらい、来年の再会を約束して別れました。



母校を巣立って早や45年

阿部 茂 (S46卒)

大学を卒業して今年で45年になりました。直近の同窓会の様子を報告します。

昭和67年に第1回同窓会を開き、以後2～5年おきに、奈良、大阪で計6回開き、毎回20～30数名が参加し旧交を温めてきました。7回目に当たる今回(平成28年6月)は、宇陀市の美榛苑を会場にしました。榛原の街を眼下に望める自然に恵まれた高台にあり、都会とはまるで違う時間が流れていました。参加者は23名で、ほとんどの人は退職して自由の身となっ

ており、ちょっと遅めの青春を謳歌している人が多くいました。中には自営業や、農業を営んでいたり、非常勤の講師をしている現役の人もありました。あと5～6年もすると後期高齢者の仲間入りをしますが、同窓会では気だけは若く、学生時代に立ち戻ったような錯覚に陥ることもしばしばでした。4年振りの再会で会話が弾み、梅雨の季節のうっとうしさを吹き飛ばす勢いと熱気のある同窓会でした。

私たちが在学した4年間は、大学紛争の影響や、教員養成所の件で学内が一時騒然としたことがありましたが、採用試験でそれ程苦しむこともなく、将来の奨学金返済を心配する

こともない、比較的平和な中で大学時代を送ることができました。わずか4年だけの大学生生活でしたが、博物館、美術館に足繁く通ったり、また、祭りのアルバイトなど、他の土地ではできない貴重な体験もしました。古都奈良で学生生活を送れたことを幸せに感じています。

今でも春日原始林や若草山の山容を眺めるだけでも、学生時代を懐かしく思い出します。人生90年といわれています。

この先、私たちの同窓会がいつまでも続い

てくれたらいいなぁと願っています。



会員からのたより



父のこと

原納 淳 (昭33卒)

私は原納淳と申します。私は奈良学芸大学芸術科書道の卒業生です。私の父親の原納彌三郎は27歳の若さで耳成小学校校長に任命されました。

これは校長に成った新記録です。原納彌三郎は耳成小学校を奈良県下で、ランニングや器械体操の一番強い学校に育て上げました。此を15年間の長きに渡って維持しました。此の様な小学校は全国の総ての小学校を隈無く探して見ても滅多に見付からないと思います。此は只一つ耳成小学校だけで有りました。

原納彌三郎は奈良師範学校同窓会会長の時に、奈良師範学校の校舎建て替えを文部省に申請すると許可が得られたので、奈良師範学校の校舎は首尾よく建て替えられました。

アメリカでは、シカゴのロジャースがカウンセリングの神様として尊敬されていました。然しながら原納彌三郎は、ロジャースよりも20年も前から早くカウンセリングの方法を発明して多くの教え子達にカウンセリングを実施していたのであります。此は真に天晴な事です。

原納彌三郎の生活は、朝眼が醒めると我が家の庭に出て三輪山の東北の我が古里の笠山を恭しく拝むのが日課の一つに成っていました。

原稿募集

- 会報31号の原稿を募集します。
- 500字程度で、顔写真等もお願いします。
- 送付先：同窓会事務局広報委員会 宛



同窓会主催

2017年 まほろば徳・得講座

教員をめざす特設講座 【君はいかに損をするか、行って得をするか】

★本学卒業生の先輩等が直接体験したことや実践例を語ります。

★今日的な教育課題を興味深く学んでいただく内容です。★教員をめざす皆さんにとって、必須不可欠な内容です。

各回 AM10:00～12:00 山田ホール ※受講料無料 ※資料当日配布

	日程	テーマ・内容	講師
第1回	5月13日(土)	「先生になったら…」して良いこと・悪いこと。マスコミ界から教師の常識・非常識を提起する120分	藤山純一 (奈良日日新聞社社長)
第2回	6月10日(土)	「わが国の教育って、だれがどこで決めてるの？」あいつぐ教育改革の波が…。教育現場から問題提起!	向出恵宥・新宮 済・松浦健人
第3回	7月15日(土)	「そもそも授業とは？」よい授業、そのコツをふたりの授業づくりの達人が語る60分ずつの実践論!	倉本政太郎・井村崇暢
第4回	8月19日(土)	「人権教育ってむずかしそう!」そうでないんだと思える120分。人権教育の創始者が心をこめて語ります。	長田光男
第5回	9月30日(土)	「道徳をどう説く?」道徳教育研究学校として、指揮をとる教育現場の責任者が熱弁をふるう120分。	枝元 哲
第6回	10月28日(土)	「この子らに光をからこの子らを光に!」特別支援教育は教育の原点とされるわけは…?	錢本三千宏
第7回	11月11日(土)	「ほんとうの生徒指導とは?」問題を起こした時の対処法と思っていませんか?ポイントを二人の講師が語ります。	金治延幸・向出佳司



回顧

松本 昭 (S22卒)

1945年敗戦の秋、九死に一生を得て兵舎から学校に帰還。国敗れ学校も多難な時に郷土に帰る。ただただ呆然と失意の日々。虚無と立ち向い真と信の世界を探し求めた。スポーツで学生再出発。幸い仲間が揃う。部長森田正英講師。野球部誕生。何もない。用具も金も、古いものを集めて補修、硬球作りは家で手縫い。金なし新品なし。グラウンドだけが広々と待っていてくれた。戦争時野球は中止、スポーツ用語も消えていた。先ず指導者が欲しい。幸い郡山中学校が甲子園初出場時の名ショート、奈良市の大橋さんに指導をしていただく。欠乏の合宿も経験しチームらしく編成、対外試合も出来るようになる。大阪京都の大会へ頑張るが成績は芳しくなく、敗退の記録が目立った。進駐軍が来てソフトボールの親善試合を県庁前の公園で楽しんだ記憶も残っている。百尺竿頭一步を進める入魂の面々、九重匂う八重桜の伝統と創造を追いかけた。信じ合って練習に励んだ当時の仲間の汗が光っている。僅か一年有余の野球だったが、懐かしい。

結びに、後輩の皆様の活躍をお祈りしています。頑張ってください。



先輩から後輩へ

後輩から先輩へ

先輩の苦勞を越えて

野球部主将 新 和輝

私たち硬式野球部は平成29年現在、4年生7名（内マネージャー1名）、3年生6名、2年生9名（内マネージャー1名）、1年生3名の計25名という、野球部としては少ない人数で活動しています。また、監督やコーチといった指導者がおらず、練習は週4日と、他大学の野球部と比べると少なく、グラウンド施設や道具などの練習環境もあまりよくありません。しかし、これらに妥協することなく、部員一人一人が自ら今自分たちには何が必要か、何をすれば公式戦で勝てるのかといったことを考えながら日々の練習に励んでいます。

練習でも試合でも常に明るく、盛り上がりながらも集中して全員が一つになって戦うのがチームのスタイルです。このスタイルは、これまでの諸先輩方が途絶えさせることなく引き継いできてくださった伝統の賜物であると感じています。

この奈良教育大学伝統のチームスタイルを軸に、部員全員が一つに結束し、上位リーグ昇格を目指して戦いますので、応援お願いいたします。

◎最近の成績

近畿学生野球秋季Ⅲ部リーグ 3位



第3回「史蹟めぐり同好会」一泊研修旅行ご案内

B本同好会は、奈良教育大学に在学している学生にも参加を呼びかけ、同窓会とのつながりを深めるために実施しています。多数のご参加をお待ちしています。

日 時 平成29年9月18日(月)～19日(火)

会 費 38,000円(当日集金) ※40名に満たない場合は中止します。

行き先 ▶集合・出発:近鉄奈良駅 8:30

一日目 名阪→伊勢湾岸道→新東名→花の舞酒造→館山寺温泉(泊)

二日目 浜名湖遊覧→井伊直虎ドラマ館→龍潭寺→御在所→奈良

▶申し込み締め切り 平成29年8月18日(金)

▶問い合わせ先(事務局)

TEL 0742-21-6101

FAX 0742-21-6102

(郵送)

〒630-8301

奈良市高畑町

奈良教育大学同窓会

会報「まほろば」配送経費軽減のためご了承下さい

会報「まほろば」の送付にあたり、広告手数料による配送経費軽減の観点から三井住友トラストVISAゴールドカードと原田司法書士事務所のパンフレットを同封しておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

VISAゴールドカードの年会費は通常1万円ですが、同窓会との団体契約のため、年会費が2,500円となり格安です。(毎月送付される冊子は送られません。)

まほろばの発送は、これまでと同じ業者に依頼し、会員の皆様の個人情報はいままでと同じように保護されています。

研修会だより

「世界遺産に学ぶ ーユネスコスクールとESD」 の講演を聞いて

枝元 哲 (S58卒)

今年は紅葉が美しいとの報道があった。そういえば奈良もご無沙汰だなと思っていた矢先に、同窓会から学長先生のご講演があると聞いた。これは天佑とばかりに、久しぶりに母校を訪れることとした。近鉄の駅の掲示を見ても、奈良公園「見ごろ」の文字。眩いばかりの紅葉に誘われて、奈良を目指した。奈良公園は鮮やかに彩られ、その中に佇む本学は、以前と変わらず、しっとりと落ち着いて私の目に映った。

今回の学長先生のご講演は、「世界遺産に学ぶーユネスコスクールとESD（持続可能な開発のための教育）」というもの。ユネスコスクールについては、近年多くの学校が申請し、認可を受けていることは知っていたが、本学が全国に先駆けて認可を受け、なおかつ日本の拠点的な活動を行っていること、本学の附属の小・中学校も同じく認定を受け、グローバルな視点を持った人間育成に励まれていることを聞き、同窓生として誇らしく感じた。

奈良の地は3つの世界遺産に恵まれている。本学ではそれを生かし、地域連携や国際交流の活動を行っており、日韓の交流プログラムも主導しているとのこと。古の文化や歴史を伝え、なおかつユネスコの理念を具現化でき得るのは、この奈良の地であるからこそ、天平に始まる絶え間ない文化の継承がなされてきたことこそ、持続可能な開発のための教育につながるであろう。そして輝き続ける天平の薨の上に未来への展望が見えてくる。まさに現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そ

してそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動がこの地で展開されるのである。本学がこのテーマに取り組む必然と宿命を感じることができた。

アクティブラーニングについての話が及んだ中で、「きれいやな」と「きれいやね」の違いについての件があった。「きれいやな」は一人だと思うこと、「きれいやね」はそこにもう一人（以上）の人が存在する。自分の思いや感動を共有しながら、コミュニケーションを図ることの大切さについて話された。授業の中においても、そういった子どもたちとの関わりを大切にした授業を進めることで、人と人が関わりながら学んでいけるアクティブラーニングが実現していくのだと感じた。人と人の関わり合いが、相手の立場や考えを大切にする姿勢になり、それが持続可能な社会に繋がっていくのだと感じた。

また、奈良ホテルにヘレンケラーが投宿したことから、ケラーとサリバン先生とのことについて話された。日本ではヘレンケラーを「奇跡の人」と呼ぶが、正しくはサリバン先生こそが奇跡のワーカーであり、奇跡の指導者であるとのこと。様々な人と人の関わりの中で、この奈良の地に多くの奇跡の人が集い、そのことが奈良の持つ伝統や文化をより高めている、それは古から奈良に繋がる数多の関わりが作りだした、発展可能な文化の賜物ではないだろうか。

この拙い文章が「まほろば」を飾るころには、奈良は萌えるような緑の中、浅茅ヶ原に鹿の子の産声が聞こえることだろう。本学も、何も変わっていないようで、教官の先生方や学生たちのアクティブな活動を通してまた一步步みを刻んでいくことであろう。それが本学にとっての遺産であり、持続可能な教育活動であると感じた。

今度本学を訪れるときには、どんな表情で私を迎えてくれるのだろうか。わくわくした気持ちで帰途につくこととした。

第15回 一日親睦研修会のご案内

研修委員会では、本年度の研修を下記の通り計画しました。お誘いあわせの上多数のご参加をお願いいたします。

期 日 平成29年11月19日(日)
会 費 6,000円(当日集金いたします。)

見学場所 ◎大徳寺高桐院
◎京都鉄道博物館
◎月桂冠大倉記念館

集合・出発 ▶大和八木駅(南口) 7:30
▶天理駅8:05
▶近鉄奈良駅(商工会議所前) 8:30

昼食場所 泉仙 大慈院店(11:30~13:00)
奈良着予定 近鉄奈良(17:00)・天理駅(17:25)
大和八木(18:00)

申し込み・問い合わせ先

奈良教育大学同窓会事務局(〒630-8301奈良市高畑町)

葉書に、住所・氏名・電話・卒業年次をご記入の上お申し込みください。Tel 0742-21-6101・Fax 0742-21-6102でも受付可能です。

締め切り
11月10日(金)

“フレッシュマン”から同窓会へ 奈良の地で — 学び 創造、学び 発信。



芝原 佑記

(H28卒・京都府公立小学校勤務)

平成28年4月から小学6年生の頃からの夢だった小学校教諭として教壇に立っています。最初は分からないことがわからない状態で、不安が多くありましたが、目をキラキラ輝かせている子どもたちを目の前にすると、自然と笑顔になり、楽しい毎日を過ごしています。

私はこの1年間、学びの中で楽しさを実感できる

授業を心がけました。身近に感じるような話題を盛り込んだり、思いもよらない教具を用意したりしながら授業を行うことで、子どもたちは楽しみながら意欲的に学習していました。

大学で学んだ知識や経験は、子どもたちと接する様々な場面で活きていると日々実感しています。この文章を書いている今は、担任した3年生が無事に進級し、少しほっとしている所ですが、これからも子どもたちと共に、様々なことを経験しながら、日々学び続けていこうと思っています。

最後になりますが、同窓会のさらなるご発展をお祈りしています。

-----き り と り 線----- (FAX送信用紙としてご利用下さい) -----

FAX送信用紙 送信先：奈良教育大学同窓会 0742-21-6102

平成30年度 総会出席申込書 日時：平成30年5月20日(日) 於：奈良ホテル

お名前	卒業年度	S・H	年度
ご住所			
		ご連絡先	

※申し込みいただいた会員の皆様には、後日詳しい案内状を送付します。※締め切り：4月末日

キャンパスだより

入学生はどの府県から？ (H28年度)

(卒業高校所在地で調査)

1 奈良県	88名	6 静岡県	6名
2 大阪府	60名	7 岐阜県	5名
3 兵庫県	27名	7 和歌山県	5名
4 京都府	17名	7 徳島県	5名
5 愛知県	8名		

卒業生の進路は？ (H27年度卒業生)

*資料：2016年大学概要

教員	幼稚園	6名	公務員	15名
	小学校	74名	企業	43名
	中学校	18名	大学院などへの進学	43名
	高等学校	12名		
	大学等	1名		
	特別支援学校	11名		
	期限付採用	74名		



事務局だより

- ◎本年度より、新入生を同窓会会員として迎えることになりました。「まほろば徳・得講座」「史蹟めぐり同好会」等、学生・院生会員を対象とした事業を展開していきます。
- ◎まほろば30号は、全会員に向けて発送致します。会費の納入にご協力下さい。
- ◎事務局に直通電話を設置しています。ファックスの送受信も可能になりました。TEL 0742-21-6101 FAX 0742-21-6102
- ◎個人情報の保護には、万全を期しています。
- ◎来年度の総会は平成30年5月20日(日)に奈良ホテルで開催します。

編集後記

- 会報「まほろば」が第30号を迎えました。創刊は平成6年7月11日です。そこには、活動の一層の活性化を目指し、会員相互の絆をより強固にするコミュニケーションの場として会報の発行を実施すると記されています。
- 本号の巻頭言では、大学との連携を更に深め、縦のつながりを強固にしていこうことを森会長が述べています。
- 母校への親しみの情が深まり、いつまでも新鮮な意識を持ち続けたいものです。

■平成29年度 広報委員会委員 (50音順)
北 良夫・仲 輝明・中村 利典
橋本 清・松原さおり・山崎 淳美

奈良教育大学同窓会会報「まほろば」 第30号 発行：平成29年6月30日

発行所 奈良教育大学同窓会事務局 〒630-8301 奈良市高畑町 奈良教育大学内

☎0742-21-6101 Fax0742-21-6102 郵便振替番号00900-2-9400

発行兼編集 奈良教育大学同窓会広報委員会

印刷所 関西印刷株式会社 奈良市南半田中町19・20番地

—題 字 故 川淵勝男元会長—